

らしい論文というのはとても少なく、その当時使われはじめた電子計算機の出現で、天体力学のやることは全部計算機でできてしまうのではないかといわれたこともある。ところが、今になって、天体力学の論文の数は、論文を読み切れないほど多くなってきてしまい、電子計算機の出現によって、問題はすべて解けるどころか、更に新しい問題をも生みだしてしまった。

はじめに述べたように、3体問題が解けないので今に天体力学という学問があるのだということもあるが、今では、三体問題や、惑星などの多体問題の解法のための天体力学から脱皮し、天体力学を使って太陽系の力学

的性質の解明といった方向にあゆみは始めている。

何百とある彗星の軌道を数値積分で求めただけでは、ここで述べたような彗星の運動の性質は明らかにされない。天体力学の知識を使って、はじめて小惑星と彗星との運動の違いも明らかになるのである。

同じ天体力学者といっても、実はやっていることにそれぞれかなりの違いがある。それぞれの立場から明らかにされた事実をもちよってシンポジウムをひらき、太陽系の天体の運動の性質を調べようというのが、今回東京でひらかれる IAU シンポジウム No. 81 の「太陽系力学」の大きな目的である。

### 学会だより

#### 会費納入のお願い

4月になり会計年度が改まりますので新年度会費の納入をお願いします。会費は通常会員3,500円、特別会員10,000円です。納入には今月号に同封の振込用紙を利用して三菱銀行三鷹支店日本天文学会普通預金口座(222-4434400)、または郵便振替口座社団法人日本天文学会(東京6-13595)宛振りこみか、あるいは現金書留を御利用下さい。会の円滑な運営のため、できるだけ早く御納入下さるようお願いいたします。

#### 日本証券奨学財団の昭和53年度研究調査助成募集

この助成金の趣旨は、学術文化の研究調査を奨励し、社会の発展、福祉に寄与することとなっており、理学および工学も対象の部門に入っておりますが、原則として研究者の年齢は55才以下としています。昭和53年度の助成金総額は3,000万円で400万円以内のものを数件100万円以内の研究調査の助成を十数件予定しています。申請書提出期間は本年3月1日より4月末日までとなっていますので関心のある方は下記宛お問合せ下さい。

〒103 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番地

東京証券会館3階

財団法人 日本証券奨学財団 (Tel: 03-664-7113)

わが国唯一の天体観測雑誌

# 天文ガイド

定価280円(〒45円) 78-5月号・4月5日発売!

#### ●5月号のおもな内容

- ★5月5日の夜極大になる「みずがめ座 $\gamma$ 」という流星群があります。特に最近むずかしくなりがちな観測法をやさしく、小中学生にもわかるように流星観測を解説。
- ★昨年(1977年)は彗星発見20個という史上最多記録。それぞれについての特徴、データなどをまじえて紹介。
- ★天体写真を撮る人がふえています。郊外の暗い場所に行けない人のために都会地での撮影法を紹介。
- ★今月の工作レポートは「10cm反射折たたみ式」です。ちょっと背中にかついで、車で運べる機材の作り方。
- ★伊豆の山に行った中央大学の天文同好会を取材しました。どんな風に撮影するのか、写真で紹介。……ほか

# 小型天体望遠鏡教室

選び方と使い方

天文の好きな少年が、学校の先生や父親、天文台の先生との会話を通して、望遠鏡の選び方や正しい使い方を学んでいくという、初心者低学年向けの望遠鏡の本です。天体望遠鏡を買う前の予備知識、店頭で実物を前にしての選び方、具体的な使い方までやさしく書いてあります。レンズ工場の見学や、夏休みでの合宿観測への参加体験記、それに天文台の見学記なども加えて、楽しくおもしろく読める本です。

●富田弘一郎著/B6判・222ページ・900円・発売中

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5  
振替東京7-6294 電話03(292)1211